

【ポスター】

## 「社会福祉士」資格取得のための実習経験が社会性の形成に与える影響の研究 2016

○ 早稲田大学 多賀努 (会員番号 008650)

キーワード3つ：社会福祉士 現場実習 社会性

## 1. 研究目的

昨年度、社会福祉士国家試験の受験資格要件である実習体験が社会性の形成に与える影響を検証したところ、実習前後で社会性の向上が確認された。そこで、本年度は実習の経験者・非経験者の2群を比較し、実習を経験したほうが社会性の向上がより得られることを検証することを目的とした。

昨年度調査は、社会性の指標として「(1) 内的不安へ対処する能力」「(2) 社会的な自己を調整する能力」「(3) メタコミュニケーションを確立する能力」を措定し、実習前後の変化を検証した。その結果、(1) 内的不安へ対処する能力は実習生の約8割、(2) 社会的な自己を調整する能力は実習生の約4割、(3) メタコミュニケーションを確立する能力は実習生の7.5割で向上が見られた。しかし、昨年度研究は、実習以外の経験でも同様の向上が得られる可能性を否定できなかった。そこで、本年度調査は、実習生だけでなく非実習生にも同様の調査を実施し、その差異を定量的に検証した。

また、使用した尺度の適切性もあわせて再検討した。その結果、「(1) 内的不安へ対処する能力」に、対人関係不安を測定する新たな尺度を使用した。また、「(2) 社会的な自己を調整する能力」は他の尺度ほど感度が良くなかったため、「社会的に望ましい反応や行動を選択する能力」を測定する尺度に差し替えた。

本年度研究によって、実習生のほうが非実習生よりも社会性の向上が有意に認められれば、実習効果が社会性に与える影響の裏づけがより頑健になると考える。

## 2. 研究の視点および方法

社会性形成の指標として(1) 内的不安へ対処する能力、(2) 社会的に望ましい反応や行動を選択する能力、(3) メタコミュニケーションを確立する能力を措定し、実習前後の変化を検証する。対応する尺度として、(1) Generalized Anxiety Disorder -7 (GAD-7) 日本語版・Social Phobia Scale -J (SPS-J) 日本語版、(2) Standardised Assessment of Personality - Abbreviated Scale (SAPAS-J) 日本語版、(3) 自閉症スペクトラム指数 (Autism-Spectrum Quotient ; AQ-J) 日本語版を利用する。同一の質問紙調査を夏休み前後の2回実施し、調査対象者は自記式で回答する。

### 3. 倫理的配慮

本研究は、早稲田大学倫理審査委員会の承認後に実施した。調査対象者は、研究参加が任意であること、侵襲性はないが心理的負担・不快を感じる場合があり中断した際の回答は廃棄すること、個人情報に連結可能匿名化等によって管理すること、研究成果は個人情報が特定されない形で学会・学術誌等に発表することを了承した上で質問紙に回答した。

### 4. 研究結果

調査はA大学の実習生を対象とし、実施時期・回答者数は、2016年7月（夏休み前）・計44名（実習生19名・非実習生25名）、同年10月（夏休み後）・計37名（実習生19名・非実習生18名）、夏休み前後のいずれも回答した数は計34名（実習生16名・非実習生18名）であった。

実習生・非実習生の夏休み前後の変化、夏休み前の実習生・非実習生の差および夏休み後の実習生・非実習生の差をt検定で統計的に検証した。

(1) 内的不安へ対処する能力1：Generalized Anxiety Disorder -7 (GAD-7) 日本語版

実習生は夏休み前後で有意に能力向上が見られたが ( $p<.05$ )、非実習生には見られなかった ( $p=n.s.$ )。また、夏休み前は実習生・非実習生に有意な差は見られなかったが ( $p=n.s.$ )、夏休み後は実習生のほうが有意に能力が高かった ( $p<.01$ )。

(1) 内的不安へ対処する能力2：Social Phobia Scale -J (SPS-J) 日本語版

いずれの場合も、有意な差は見られなかった ( $p=n.s.$ )。

(2) 社会的に望ましい反応や行動を選択する能力：Standardised Assessment of Personality - Abbreviated Scale (SAPAS-J) 日本語版

実習生・非実習生ともに、夏休み前後で有意な変化は見られなかった ( $p=n.s.$ )。一方、夏休み前は実習生・非実習生に有意な差は見られなかったが ( $p=n.s.$ )、夏休み後は実習生のほうが有意に能力が高かった ( $p<.05$ )。

(3) メタコミュニケーションを確立する能力：※自閉症スペクトラム指数 (Autism-Spectrum Quotient ; AQ-J) 日本語版

いずれの場合も、有意な差は見られなかった ( $p=n.s.$ )。

### 5. 考察

内的不安については、不安全般に対処する能力に有意な向上が認められた。また、社会的に望ましい反応や行動を選択する能力が有意に向上していた。対人関係の不安に対処する能力・メタコミュニケーションを確立する能力に有意な向上は認められなかった。以上から、社会福祉士実習は、不安に対する耐性および社会的な協調性をかん養する効果があるが、対人関係の不安の耐性を高めたり、コミュニケーションを確立する能力を磨く効果はないことが示唆された。